

角田支局記者 藤井宏匡 の Let's KAKUDA!

河北新報角田支局 藤井宏匡 ※連絡の行き違い防止のため、
kakuda@po.kahoku.co.jp 配達に関する連絡は販売所
TEL 0224-62-1568/FAX 0224-62-0707 までお願いいたします。⇒

「どうにかなる？」

先日、丸森町で千葉県銚子市のローカル鉄道「銚子電鉄」の竹本勝紀代表の話聞く機会がありました。銚子電鉄の鉄道事業収入は1億円を上回るほど。阿武隈急行よりもずっと小さな鉄道会社です。

「電車屋なのに自転車操業」。竹本氏が自虐するように、阿武急以上の経営難にさいなまれてきた銚子電鉄。車掌自らビールなどを車内販売したり、敷地内の植物を販売したりするなど涙ぐましい努力を重ねてきたようですが、それでも車両の定期検査の費用が確保できなくなるほど経営が悪化していたようです。

では、どうやって生き残ってきたのか。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、実は「副業」が大きな経営資源となっています。30年ほど前から始めたぬれせんべいの製造が大きな柱となり、現在では食品製造販売の売り上げが約5億円。帝国データバンクによる企業分類も「米菓製造」となっており、どちらが本業かもはや分かりません。

どのような会社や業種においても、成長する時代もあれば苦しい時代があります。フィルムからヘルスケアへと事業転換した富士フイルム。仲介業務からあらゆるビジネスに多角化を図った総合商社。いずれも持ちうる技術と知見を生かして、活路を見いだしてきたのだと思います。

阿武急もきっとまだまだできることがあるのかもしれませんが、竹本氏は、ローカル線の黒字化は困難で、補助金も経済的合理性に欠けるとしつつ、それを上回る地域への経済効果・貢献を生み出すことが存在意義だと説きました。起死回生、一発逆転の手はそう見つかるわけありません。でも、何かしてみることで見えてくるものがあるかもしれない。同じく経営環境が厳しい新聞業界の姿も重ね合わせながら、前向きになれる時間でした。

☆皆様からのイベント情報等をお待ちしています。原稿は毎月15日頃までに、当店へ直接お持ちいただくか、FAXまたはメールにてお送り下さい。

編集 河北新報目黒新聞店

発行 〒981-1505
角田市角田字泉町137-2
☎0224-63-3154

皆様の元気のお手伝いを

月刊 かほく あんふいに

第446号

令和7年10月号

【毎月最終日曜日】
発行予定

顔晴音 
GANBARUON!

in道の駅かくだ

令和7年10月19日(日)午前11時から

会場：道の駅かくだ 東側広場
荒天時は屋根付き広場



※入場料・無料

■主催／角田バンドクラフ

■後援／道の駅かくだ

■お問合せ／角田バンドクラフ会長 笹木

☎080-2831-0939

【出演団体】

- ・営業案内(カタログ)
- ・クエストバンド
- ・パンクンズ
- ・ガースーバンド
- ・民謡尺八愛好会
- ・角田奏音一座



10月の新聞休刊日は
10月20日(月)です

○当店の営業時間は【午前9時～午後4時】となっております。

※新聞休刊日は、事務所も含め全店休業日とさせていただきます。

角田の守護神 開運の神様 八幡神社秋祭り 疫病退散祈願 (新型コロナウイルス)

○と き／10月19日(日)

《八幡神社例大祭神事 午前10時～》

○神輿渡御／午前10時

神輿お降り→八幡神社→

谷地町→北町→

立町→野田→

野田公民館→

西南町→館下→

八幡神社

○神輿お引き込み／午後3時

○演武奉納等アトラクション／

角田祭りばやし(角田祭りばやし保存会)

お神楽演舞(島田神楽保存会)

少年柔道野試合(牛木道場柳柔会)

少年空手野試合(角田少年空手千葉道場)

少年剣道野試合(臥牛館遠藤道場)

※各奉納行事の披露終了後にまき銭・

まき菓子をを行います。

■申込・問合せ／

八幡神社氏子総代会秋祭り実行委員会

大泉 ☎090-2792-2008

※秋祭り参加記念品
景品抽選もあります。